



フェニックスリーダー育成プログラム産学官コンソーシアム
第二回国際シンポジウム

放射線災害復興を推進する 人材の育成とネットワーク構築



平成29年2月9日(木)
10:00~17:30

会場:東京国際フォーラム ホールD5
東京都千代田区丸の内3-5-1
TEL 03-5221-9000
www.t-i-forum.co.jp



【参加登録・意見交換会申込み・お問い合わせ】

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室
広島県東広島市鏡山1-1-1 TEL:082-424-2282
Mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://hiroshima-u.ac.jp/phoenixlp>



放射線災害復興を推進する人材の育成とネットワーク構築

現在、放射線は保健医療、農業、工業、先端科学技術など多くの産業分野で利用され、社会の発展に寄与することが期待されています。一方で、放射線利用の拡大に伴い、適正な放射線防護や放射線災害への備え、また、災害からの復興をリードする専門家の確保が必要です。

このシンポジウムでは、これまでに本プログラムを支援頂いた各組織をはじめ、企業や政府、大学や研究所そして国際機関から参加頂き、必要な人材像やその育成のあり方について議論することを計画しております。是非ご参加頂き、今後の社会の安心を支える人材の活用をご検討下さい。

Program

同時通訳あり

- 10:00 開催者挨拶** 越智 光夫(広島大学長)
- 10:05 来賓挨拶** 井上 睦子(文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長)
- 10:10 プログラム紹介** 神谷 研二(広島大学副学長, フェニックスリーダー育成プログラム責任者)
- 10:25 基調講演** 伴 信彦(原子力規制委員会委員)
- 10:50 Session 1 国際機関のインターンシップと求める人材**
May Abdel-Wahab (国際原子力機関/IAEA 保健部部長, 広島大学客員教授)
Wolfgang Weiss (国連科学委員会/UNSCEAR 福島評価専門委員会元委員長)
Jacques Lochard (国際放射線防護委員会/ICRP 副委員長, 広島大学客員教授)
Thierry Schneider (フランス放射線防護評価センター/CEPN センター長)
- 11:50 昼食/学生ポスター展示・発表開始(ロビー)**
- 12:50 Session 2 放射線災害復興に求められる人材の多様性**
Kai Vetter (米国ローレンス・バークレー国立研究所レジリエンス・コミュニティ研究所所長)
島田 義也(量子科学技術研究開発機構理事)
Albert Wiley (米国オークリッジ国立研究所放射線緊急時支援センター・研修施設/REAC/TS シニアアドバイザー)
Thomas Johnson (米国コロラド州立大学保健物理学科准教授)
嶋田 和人(宇宙航空研究開発機構/JAXA, 宇宙飛行士健康管理グループ主任医長)
- 14:05 休憩**
- 14:20 Session 3 アジアにおける放射線防護, 放射線災害への備えと人材育成**
調整中 (インドネシア)
Vuong Huu Tan (ベトナム放射線防護・原子力安全庁/VARANS元長官)
Hamrah Bin Mohd Ali (マレーシア科学技術革新省 原子力許認可委員会長官)
Rethy Chhem (カンボジア開発資源研究所所長)
齊藤 正樹(東京工業大学名誉教授/特命教授, グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント 教育院長/プログラムコーディネーター)
- 15:35 休憩**
- 15:50 Round Table ネットワークの構築-産学官が求める人材-**
一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会, 株式会社大林組, 鹿島建設株式会社
株式会社千代田テクノル, 経済産業省・資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室,
原子力発電環境整備機構(NUMO), 五洋建設株式会社, 大成建設株式会社, 電気事業連合会
- 17:20 閉会挨拶** 高田 隆 (広島大学/理事・社会連携室)

シンポジウム終了後、情報交換会(会費制)を開催いたします。場所、会費等詳細は、お申込み頂いた方に別途ご連絡いたします。